

平成24年7月25日

岸記念体育会館の建替えについて打合せ（日体協、都市整備局）（記録）

日 時：平成24年7月25日（水） 13:15~14:05

場 所：第二本庁舎20階20A会議室

出席者：（財）日本体育協会：[REDACTED]

都市整備局：町田都市づくり政策部長、佐藤土地利用計画課長、渡邊補佐、大塚

打合わせ内容（○：日体協、■：都市整備局）

- 神宮外苑への移転について、JSCから[REDACTED]に話があった。日体協としては、これまで現地建替えとしていろいろと話を進めてもらっていたことがあったのと、移転したとしても、どういう状況でどういう建物が建つのかについては全く情報がないので、よくわからないというのが正直なところ。JSC、日体協、JOCが一つの建物に入るイメージだと思う。ただ、日体協としては、これまでスポーツ文化の発信の拠点形成ということで話を進めてきており、加盟団体も一緒にすべて建物に入ることが大前提。加盟団体の意見も聞いてみないと、現時点では何とも言えない。
- 日体協の中で、[REDACTED]その後、JOCと一緒にJSCと実務者打合せをしたので、その報告をしたい。
- 6月1日夕方、[REDACTED]その時は、JSCの動きを待ってみようということになったのだが、6月29日、再度[REDACTED]ので、聞きにいこうとしていたところ、ちょうどJSCの藤原理事から[REDACTED]に連絡があった。国立競技場を建替えることとあわせて、JSCなどが入るビルを建てるので、そこに入ったらどうか、ということだった。
- 資料1枚目は、JSCと実務者レベルで話をする前の、7月11日の[REDACTED]において、JSCに確認すべき事項としてまとめられたもの。
- 資料の2~4枚目は、その後7月19日、JSCとの実務者レベルでの打合せにおいて、JSCから提示された資料。テニスコート+明治公園の部分にビルを建てるとのことであった。規模については正確には教えてもらえなかったが、ざっくりと地下3階、地上6~7階、床面積は40,000㎡程度とのこと。その内、競技場建替えに伴い移転してくる日本青年館の分が25,000㎡くらい。数字は仮定のものだが、そのように聞いている。規制は神南（：現岸記念体育会館敷地）と同じ感じである。スポーツ界としては、以前から説明しており、18,000㎡~20,000㎡が欲しいと思っている。JSCからもいくら欲しいのかと言われ、明確には言えないが18,000㎡~20,000㎡は考えなければならないと伝えた。
- 19日の打合せではそこまでで終わった。
- JSCからは、役員はどう思っているのか、という話があったので、21日（土）に資料1枚目の確認すべき事項のペーパーを、JSC宛てメールを送っている。今週月曜23日にJ

SC高崎課長からメール受信の連絡があり、昨日24日も確認の電話をしたところ。

- JSCは藤原理事を中心に動いているが、今ロンドンに行っている。JSCには、送った確認事項についての回答を欲しいと伝えている。JSC武本本部長、高崎課長の対応で、近いうちに回答をもらえるのではないかと考えている。JSCとは数多くやりとりをしたい。9月19日には、[redacted] 予定。[redacted] [redacted] ことになると思う。現行の計画（：現地で建替案）を踏まえつつ、こういう話（：神宮外苑への移転）もある、ということかと思う。
- 移転も一つの話だとは思うが、日体協としては、自主独立性でこれまでずっとやってきたという、その“気持ち”がある。現地建替案の案でいくのか、JSCの案に乗るのか、スポーツ界全体としてどうすべきかを考える必要があると思う。11月に[redacted]があるが、競技団体の意見も聞く必要があると思っている。JSC藤原理事からは、「11月、12月にはスポーツ界の判断がほしい。」と言われている。スケジュールがタイトすぎるなあという声も出ているが、団体の意見を聞いて役員に説明していくのだと思う。
- 厳しいところだが・・・、これは非常にデリケートな話。JSCが年内と言ったのは、競技場の建替案について、開催が決まっている2019ラグビーW杯から逆算して、今年の終わりには都市計画の手続を開始する必要があるから。その時にどこまで入れられるか。国際コンペについては先週公表されたとおり。敷地と計画範囲が示され、霞ヶ丘アパートも関連する範囲として含まれている。建物は規模が2倍になるため、敷地はギリギリ。青年館の移転が必要になり、目をつけたのが、テニスコート+明治公園のところ。どこまでできるかということはあるが、競技場建替案がスムーズにいくように手法を考えている。青年館をどうするか、JSCの本部がどれだけの規模なのか、日体協が何mいるのか、それらを実現できるように考えたいと思っている。都としても、国策にあわせた都市計画の対応は大切だと思っている。全面的に協力したい。日体協として移転が可能ならば、一緒になるというのも一つのアイデアだとは思う。
- 我々には加盟のスポーツ団体がいる。日体協とJOCだけではない。加盟団体を切り捨てることはできない。
- 加盟団体を一同に、という話は、[redacted] [redacted] 大きい団体は良いが、小さいマイナー競技や、地道にやってきた団体のために基盤整備することを考えたい。我々にはそういった背景がある。日体協だけではない。切り捨てられない。
- 加盟団体はどれくらいいるのか？
- 競技団体は56団体。その内、40団体が岸記念体育会館に入っている。そのほか、[redacted] [redacted] や [redacted] など、スポーツ関連の団体があるので、あわせると70~80団体の規模になる。
- [redacted] と言っている。
- スポーツのメッカを作るということは、都としてのキーワードでもある。神宮外苑は神宮球場やラグビー場など施設が整っているところ。スポーツ関連団体が一つに集まれば、それは

スポーツのメッカの実現のためには良いこと。ただ、キャパシティの問題はあると思う。

- 仮に（神宮外苑へ）移転するにしても、（現地に）残ったとしても、スポーツ団体の意見を聞いた上での幹部判断かと思う。そのためにも、JSCには、確認事項の回答をできるだけ早く欲しいと言っている。正直、移転は想定していなかったこと。JSC藤原理事は、「年内に結論を」と言っている。厳しいスケジュールは理解しているが・・・。

まずはJSCとの実務者打合せを進めたい。その後で、12月に向け、加盟団体への意見聴取を行いたい。その上で、最終的には[REDACTED]と思う。

- 団体へのヒアリングは早い方が良くと思う。JSC本部や日本青年館が動かないと、競技場の建設ができない。テニスコート+明治公園へのビルの建設は競技場の建設に先行する。都市計画はその区域も含めて考えていく必要がある。建物規模はわからないが、いろいろと検討の余地はあると思う。移転が考えられるならば、都としてもその方向性で考えていく。

- 以前整理してきた新岸記念体育会館が床を多く必要とする理由（：博物館や防災機能の確保など）については、国立競技場本体で確保できると聞いた。[REDACTED]

[REDACTED]と言っている。移転することにより、日体協の弱点が補完されるならば、今の場所でも、という判断はあるかもしれない。もちろん、スポーツ団体のことは別にあるのだが。

- 入居しているスポーツ団体は家賃を払っているのか？

- 家賃、光熱費払っている。

- 外に借りるよりは楽なのか？

- そうだと思うが、先日、[REDACTED]代わりに、[REDACTED]

- 耐震の問題もある。[REDACTED]予定。3・11以降、職員が不安を持っているようだ。[REDACTED]も[REDACTED]も、新しい岸記念体育会館になったら戻りたいと言っている。[REDACTED]や[REDACTED]など集まれば、メッカ的な要素はできている。

- 集まることは良いことだと思う。

- 説明会や指導者育成の講習会など、一つになっていると効率が良い。

- 近いことで動きやすいということもそうだが、各団体が一緒にいることのメリットもあるだろう。

- オリンピックの壮行会も、外でやらなくても、ビル内でもできるかもしれない。

- スポーツ基本法でも、各団体の連携を言っている。

- [REDACTED]

[REDACTED]だからといって、一つに集まれば、メッカができるということは良くわかる。

情報を整理して最終判断を仰ぎたい。職員や団体の意見聴取を行い、12月までに結論を出したい。

- [REDACTED]

